



理念

何か世の為 人の為

青雲だより

2011

1月号

vol.44



1階 医事課横

(画：H.Kawaida)



新年のご挨拶



医療法人 青雲会 理事長 川井田 浩

青雲会病院は、創業以来昨年で30年を経過しました。本年は更なる10年に向かって新たな歩みを進めております。新病院に移転してから早いもので、4年目のお正月を迎えました。この間、聖書の一節にあるように「新しい酒は新しい皮袋に」という発想のもと、「建物も場所も変わったんだから中身も変えよう」を合言葉に、組織運営の変革や待遇の改善に取り組んで参りました。特に待遇については待遇実行委員会を作り、全管理職者を委員に選任し、月1回の委員会を開き、事細かな取り決めや目標を設定し所属の全職員に伝達し実行させています。具体的には

①喫煙の禁止

喫煙者は職員として採用しない。入職後に喫煙した者は解雇。

②身だしなみの徹底

服装の適正化。ボタンをしっかりとかけてだらしなくしない。ユニフォームは頻繁にクリーニングに出す。着靴の徹底。スリッパやサンダル履きは禁止。茶髪や手入れの行き届かない長髪は禁止。爪切の徹底。女性は口紅使用。看護師はナースキャップ使用等々。

③立ち姿や歩行時の姿勢の改善に対する実地訓練

④挨拶の日常化

部外者はもちろん、職員同士にも挨拶の徹底。

⑤言葉遣いの改善、注意。

例えば「ご飯のほうは食べましたか」「ご飯とか食べましたか」「ご飯を食べたみたいな」「まじ～」「チョー～」「全然、良かったです→元来否定語がくる→○全然、良くなかったです。」等、妙な日本語が日常的に氾濫している中で、改善していくのは少々難しいところもありますが、職場教育として、職場内では、妙な日本語は注意し、職員同士丁寧語を用いることの徹底。

このような待遇の取り決めは、漢詩に「歳々年々人皆同じからず」とあります様に、職員は毎年毎年入れ代っていますので、以前指導教育したことは当然常識となっているはずだと思い込んだら大間違い。常に繰り返し指導しなければ、たちまち右から左に忘れられてしまいます。そのため青雲会では毎週1回の全体朝礼で上位下達方式で待遇の事を取り上げ、待遇に取り組まなければならないんだという雰囲気を作り上げ、理解を促しております。この取り組みのおかげで、最近は職員の表情が明るく、笑顔にあふれ、病院全体が明るい雰囲気を醸し出している様に思えます。

また種々の会議での職員の発言も多くなり、始めと終わりの時間厳守も円滑化してきました。外部からのお褒めの言葉も、多く頂戴するようになり、見学者も多数お見えなるまでに成長してきております。

この様な成長への試みは、一朝一夕には勿論できません。組織を上げての取り組み、二ーチェの言うところの情熱の矢が目標に向かってこそ成し得るものだと考えます。

その意味で「何か世の為人の為」の理念のもと、青雲会の全職員がその趣旨をよく理解し、自分たちも変わろう

としている、いわゆる「パラダイム・シフト」への挑戦へは感動を覚えます。青雲会は毎年総合目標を掲げていますが、昨年は「誇りを持ち、規則を遵守し、ありがとうと言う青雲会」を掲げました。医療職としての誇りが損なわれては医療はできません。近年はモンスターペイシエントと呼ばれる、理解に苦しむ態度や発言をする患者、家族が時々見受けられます。

その様な人たちにひるむ事無く、臆する事無く、我々は毅然とした態度で、誇りを持ち業務に専念しようとする趣旨でしたが、見事に遂行してくれました。また、褒められたことには素直にありがとうという言葉を発表されるようになっています。素晴らしいことであると感じています。今年の総合目標は「常にParadigm Shift/パラダイム・シフト（変革）を考え、皆でCo-Operate コーオペレート（協力）し、Ressentiment ルサンチマン（ねたみ）をやめてApplause アプローチ（拍手）をしよう」頭文字を取って、【パラコーラ】にしたいと考えております。

十年一日の如く同じ事の繰り返しでは組織の進歩はありません。進歩しなければ理念の遂行ありません。全職員が些細なことでも良い、何かパラダイム・シフトを考え、新しい事に挑戦する姿勢を持ち、全職場からパラダイム・シフトが提起される事を望みます。人の成功にはルサンチマン（ねたみ）がつきものです。組織とて同じです。くだらないルサンチマンを捨てて、素晴らしいこと、感動したことには、素直に拍手できる、そのような組織になりたいものと考えます。こうしてこれからの一年、青雲会では、常に拍手が沸き上がる組織と成ることを目指していきたいものです。職員の皆さま宜しくお願いします。今年一年頑張りましょう。



(平成23年1月現在)



新年のご挨拶



青雲会病院 院長 島内 正樹
(脳神経外科)

新年明けましておめでとうございます。

一昨年から昨年にかけてのこの時期は、新型インフルエンザ騒動で、患者さんはもちろん、医療機関もその対応に苦慮致しました。今年はあのパンデミック騒ぎは何だったのかと言うくらい、新型、季節型インフルエンザともに、今のところ鳴りを潜めています。昨年夏の猛暑の影響が、寒気の南下が遅くなった影響もあるのでしょうか。それにしても、あの猛暑はかつて経験したことのないものでした。マスコミは、高齢者が熱中症で死亡したり、病院に搬送される様子を毎日報道しておりました。しかし、脳梗塞の患者さんが、意外に暑い夏に多いことを、マスコミはあまり取り上げていませんでした。暑さによる脱水で、血栓（けっせん）が起きやすいためですが、当院でも、例年になく脳梗塞（のうこうそく）の患者さんが多かったようです。また寒いこの時期になりますと、脳出血の患者さんが増えて参りますし、高齢化により、脳卒中を発症する患者さんの数は、季節とは関係なく年々増加しているようです。

しかしながら、当院では脳神経外科の常勤医が、一人という状態が続いており、この地域で発生した脳の病気や外傷で搬送された患者さんすべてに、十分な対応ができなかったり、救急患者さんへの対応のために、来院された他の外来の患者さんを長時間お待たすようなこともあり、大変心苦しく思っております。なにとぞご容赦下さい。本年1月からは、毎週金曜日のみの非常勤ですが、池田医師（脳神経外科専門医）に当院での診療を開始してもらいます。まだまだ十分とは言えませんが、ご理解下さい。

本年も全職員が、この地域の医療の中核を担うという意識で、診療、看護、リハビリテーションの充実に努力して参ります。今後とも、よろしくご支援をお願い致します。

青雲荘 施設長 川崎 雄三

皆様、新年明けましておめでとうございます。“兎歳”でありますからピョンピョン明るく元気に飛び跳ねるように一年を過ごしたいものだと思います。私は、新年早々開催される菜の花マラソン（もちろん最短の10km）に参加します。還暦を迎えて、どの程度、飛び跳ねることが出来るか試してみます。最後に亀さんに追い越されないよう日々怠ることなく、地味でもいい能力・体力に応じて一步一步着実に時を刻んで生きたいものです。

今までの日本は、経済の右肩上がりの発展を背景にお金を沢山稼ぐ・物質的に豊かになることが幸せのバロメーターであると考えられてきました。しかし、少子高齢化時代への突入やリーマンショック後の経済の停滞で、本当の幸せとは何かを改めて考えるべき時代が来たと思います。老後を幸せに、豊かに生きるために介護保険の財源をどう確保するか（消費税の税率アップを含め）国民一人一人が真剣に考え結論を出さなければならない年を迎えたと思います。

今年も、御指導、よろしくお願い致します。

所属長★エッセイリレー

人間ドック室長 岩永 みすず

あけまして おめでとうございます。

1年の始まり1月を迎え、今年はどのような年になるのだろうかと期待が膨らみます。健康であること、子供の成長、仕事の達成感など様々な事に於いて順調に充実感を味わえる1年でありたいと願います。

さて、人間ドックの業務に携わり16年が過ぎようとしています。この16年を振り返ると、ひと月に数人の受診者で病棟業務を兼ね行っていました。検査伝票、検体シール、結果帳票と全てが手書きで、食事の提供、検査着、スリッパ、入浴セット一式を揃え、特別室に宿泊し検査を行っていました。患者さんではない健康な人の対応をどうすれば良いのか分からず、ただ失礼のないよう接することだけを考え実施していたのが始まりです。次第に受診者も増え1日4人を平均に受けられるように検査待機場所を病棟より専用の部屋へ、そして宿泊がホテルへと変わりました。受診者に見やすい結果帳票の提供と業務効率アップを図るため、パソコン導入が必然となりました。触ったこともないパソコンに戸惑いながらもキーボードの前では「上達するしかない」と孤軍奮闘する毎日でした。常に進化し続ける青雲会はやがて血液検査値の自動入力化、電子カルテ健診システムも導入となり、新築移転とともにドック専用フロアー、内視鏡専用待合室も完備し現在のドック室となりました。検査で疲れた体を展望温泉で癒し、食事は専用レストランで桜島を眺めながらゆっくりと楽しんで頂いております。不安な気持ちで来院されますが、そのお気持ちを少しでも解消していただければ幸いです。皆さんが健康な毎日を過ごされますようお手伝い出来ることを誇りとしています。



人間ドック専用受付



専用レストラン



内視鏡専用待合室



展望温泉浴室

青雲荘コーナー

青雲荘の通所リハビリテーションでは12月のレクリエーションとして正月飾り作りをしました。竹や、飾りは職員で人数分準備させていただきました。手作りの正月飾りを作りながら「また今年も年を越すことができたなあ」「自分もこんな飾りを作ることができた」と、皆さん喜んでおられ、また、お正月という季節感を味わっていただくことができました。持ち帰った自宅では、家族の方にも喜んでいただけたようです。

送迎をさせていただく際、利用者の方の家にこの正月飾りが飾ってあるのを見て、職員一同嬉しく感じ、今年も色々なことに取り組んでいく通所リハビリテーションでありたいと思います。



外来診療体制一覧表

2011年 1月現在

午 前	月	火	水	木	金	土
外 科	平 田 有馬(剛)	貴 島 有馬(剛)	平 田 貴 島 前 田	貴 島 有馬(剛)	平 田 有馬(剛)	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】
脳 神 経 外 科	島 内	島 内	島 内	島 内	池 田	
内 科・呼吸器科	川井田 愛 甲	川井田 愛 甲		川井田	川井田	高 塚 【第1、2、4、5診療】
循 環 器 科	福 留	福 留	福 留	福 留	福 留	福 留 【第3診療】
消 化 器 内 科 (内 視 鏡 室)	松 原 高 塚	松 原 野 口	松 原 野 口	松 原 高 塚	松 原 高 塚	松 原 野 口 【第1、2、4、5診療】
眼 科	有 村	有 村	有 村	田 中	有 村	有 村 【第1、3診療】
泌 尿 器 科	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	有馬(純)/山川 【交替制】
人 工 透 析	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	
整 形 外 科		坂 梨			安 松	
歯 科 口 腔 外 科	守 山	守 山	守 山	守 山	守 山	守 山 【第3診療】
午 後	月	火	水	木	金	土
外 科	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	
脳 神 経 外 科			前 田		池 田	
内 科・呼吸器科	愛 甲	愛 甲				
循 環 器 科	福 留	市 成 【第1、3診療】	田 原	福 留	福 留	
消 化 器 内 科 (内 視 鏡 室)	松 原	松 原	松 原 【第3水曜日のみ休診】	松 原	松 原	
		野 口	野 口			
眼 科	(手術)	有 村	有 村	田 中	有 村	
泌 尿 器 科	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	
人 工 透 析	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	
整 形 外 科	坂 梨 15:00より	坂 梨			安 松	
歯 科 口 腔 外 科	守 山	守 山	守 山	守 山 【第1、2、4、5診療】	守 山	

診 療 日：月曜日～土曜日（土曜日は午前中） *日曜日・祝祭日は休診

受付時間：8：30～12：00 14：00～17：30

脳神経外科は金曜日以外は午前中でのみの診療となります。

循環器科・歯科口腔外科は予約制となります。眼科は一部予約制となります。

※ただし、急患については常時対応いたします。

※午後の診察は、13：30より受付致します。

基 本 方 針

- 「何か世の為 人の為」の理念のもとにさらに救急医療を続ける
- 「最期は青雲会病院で」と言われる病院作りを目指す

青雲だより 第44号

発行者：医療法人 青雲会 青雲会病院
広報委員会

〒899-5431 始良市西餅田3011

T E L：0995-66-3080

F A X：0995-66-3057

ホームページ：http://www.minc.ne.jp/seiun/

E-Mail：hospseun@po.minc.ne.jp

ご意見などございましたら、お気軽にご連絡ください